

相撲を通しての人づくり

長浜市相撲連盟 理事長

田中 敦司さん（本庭町）



撮影場所：私設土俵（平方町）

相撲の稽古場、「もっと強く、思い切ってあたれ」と力強いゲキが飛ぶ。市内の私設土俵で子どもたちの指導にあたる田中敦司さんの声です。

上俵は、田中さんら長浜市相撲連盟を中心に、手作業、手介当てで作られたもの。現在7人の子どもたちが週2回稽古に励んでいます。2024年滋賀国体の相撲競技が長浜で行われることが正式に決定しており、子どもたちは国体出場を目指す金の卵たちです。

田中さんの相撲との出会いは、高校1年生のとき。身体はそれほど大きくなかったが、体と体がぶつかり合い強い方が勝つ、そのわかりやすさに興味を持って始めました。当時、びわこ国体を翌年に控えたタイミングで、稽古は今でも忘

れられないほど厳しかったそうです。小兵ながら努力の甲斐あって県の有力選手に成長。けがの為、びわこ国体には出場できなかったものの、次の鳥根くにびき国体に出場しました。

その後も、選手として活躍し、平成10年に相撲指導の道に入ります。丁度その頃、地元へ伝わる金太郎伝説にちなんだ「西黒田金太郎相撲大会」の指導審判を頼まれ、以来、地元や学校などで多くの子どもたちの相撲指導にあたってきました。相撲ほど子どもたちの成長がわかりやすく見て取れるものはなく、子どもたちが試練を乗り越えた姿を見ると涙が出ることもあるそう。「相撲の喜びは勝ったときの歓声。それは稽古で極限まで心技体を鍛えた者だけが得られるものです

から」と田中さん。この感動を子どもたちにも味わって欲しくて指導に力が入ります。

また、当時の教え子たちが、金太郎相撲大会を手伝ってくれたり、教師となって相撲部を立ち上げようと頑張ってくれているので、自分ももっと頑張ろうと力をもらうそうです。

現在県内に相撲部はありません。そして、競技者だけでなく指導者も少ないのが現状です。田中さんは今年から指導者の講習会を始め、2024年滋賀国体に備えています。長浜が相撲会場としてふさわしいと言われるよう日々の努力が続きます。「できれば大相撲力士を長浜から輩出したい」と、田中さんの挑戦は始まったばかりです。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。

健やかに育つてね

たつちゃん!! こつちゃん!!



須戸

晃司ちゃん（平成27年4月生まれ）
達哉ちゃん（平成23年5月生まれ）
左 右

土田

結加ちゃん（平成26年10月生まれ）



一歳の誕生日おめでとう!

毎日元気いっぱい、ごはんももりもり食べる結ちゃんの成長が楽しみです。

まちの人口

平成27年9月1日現在 人口 121,344人 男 59,350人 女 61,994人 世帯数 44,804世帯
平成27年8月中の異動 転入 221人 転出 249人 出生 83人 死亡 114人 婚姻 59件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いてあります。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。